



公立大学は 82 大学となりました。

The Japan Association of Public Universities

公立大学協会

一般社団法人公立大学協会ニュースレター Vol.7/No.1

2012年4月27日発行（通刊第26号）

【発行責任者】奥野 武俊（一般社団法人公立大学協会会長／大阪府立大学長）

【編集責任者】中田 晃（一般社団法人公立大学協会事務局長）

〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-13 虎ノ門吉荒ビル9F

TEL(03)3501-3336 FAX(03)3501-3337

E-mail: jimu@kodaikyo.jp URL: http://www.kodaikyo.org/

国際性豊かな人材育成をめざす—入口から出口まで—

公立大学協会副会長／第2委員会委員長 木苗 直秀(静岡県立大学長)

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、津波や原発事故を誘発し、未曾有の被害をもたらした。死者、行方不明者は 1 万 9 千人を超え、多数の方が家や職場を失い、今なお避難生活を続けている。発災後 1 年以上経過したが、1 日も早い復興を願わずにはいられない。発災直後から多くの公立大学の学生、教職員が募金やボランティア活動、専門性を生かした支援活動を行ったことに感謝しつつ、今後もそれらの活動が継続されることを願っている。

さて、公立大学は 82 校に及び、そのうち 61 校が既に法人化されている。それぞれの大学が独自の理念のもと地域に根ざしつつ、国際性豊かな学生を育成し、実社会に送り出している。第 2 委員会では教育、研究、地域貢献をテーマとして掲げ、平成 23 年度は FD と教育の質保証、入試時の危機管理、就職活動の時期と対応、離職率等について検討してきた。それらの中からトピックスとなるものを以下に述べる。

1 入学試験

多くの大学が大学入試センター試験を利用しているが、平成 24 年度入試の際に試験方法の変更に伴い、配布ミスや配布時間の遅延がみられたので改善を求めている。

また、高校の新指導要領の実施に伴い、平成 27 年度より入試内容の変更があるので、大学入試センター試験とともに各大学が実施する前期、

中期、後期試験の問題作成には十分な注意が必要である。

2 教育活動の推進

23 年度は特に看護・医療、福祉分野の課題について検討してきた。

高齢化社会が急速に進む中でチーム医療の重要性を考えつつ、看護、福祉分野に従事する専門職を育成することがますます重要になっている。それら専門職の教育には FD を伴う教育の質的向上とともに、教員数の確保が必須である。さらに福祉分野従事者には賃金を含む雇用条件とともに地位の向上が求められている。

3 就職活動

学生時代に培った学力、知力、体力をもとに自ら職種を定め、就職戦線に挑むことになる。しかし、世界的な経済不況や東日本大震災に伴う企業の海外移転などにより厳しい就職活動を強いられている。キャリア教育がますます重要となり、学生は



木苗直秀副会長
(きなえ・なおひで)

静岡県立大学学生部長、副学長等を経て、平成 21 年 3 月から現職。専門領域は食品衛生学、食品安全学。平成 22 年 6 月より、大学ネットワーク静岡の会長も兼務。

自分の将来を描ける職場を求めることが必要となるし、企業側は大企業のみならず、中小企業も経営方針、社員教育の仕方、生活支援、待遇等に関する情報提供が必要不可欠となるであろう。

我が国では少子高齢化が急速に進行し、労働力の不足が懸念されている。また高齢者の急増、単身者世帯や夫婦のみの高齢者世帯が増え、医療費の高騰を引き起こしている。万人が望む健康・長寿と安全・安心な社会を実現するために、教職員が学生とともに物事をローカルに、グローバルに思考し、その実現のための歩みを続けられることを期待している。

高等教育局大学振興課長等の異動

大学振興課の異動について、紹介いたします（[] 内は着任日／前職）。

池田貴城大学振興課長(写真中右)[H24.1.6／産業連携・地域支援課長]、田頭吉一課長補佐(併)公立大学専門官(写真中左)[H24.4.1／国立大学法人支援課課長補佐]、津田元洋公立大学係長(写真右)、永見浩輔短期大学係長[H24.4.1／大学振興課大学改革推進室大学院係](写真左)。



東日本大震災ボランティア「大学生の参加経験に関するアンケート」の調査結果がまとまりました

東日本大震災の復興に係る学生ボランティア等に関する作業部会 主査 竹内 正吉（大阪府立大学副学長）

本誌前々号でもご紹介しましたとおり、本作業部会は学生ボランティアの派遣に関する支援を行うとともに、学生による復興支援活動に伴う教育的効果を検証し、その効果を今後の大学教育へ展開させることを目指して、活動に取り組んできました。

その取組みの一つとして、ボランティア活動に参加した大学生の意識及び能力が活動の前後でどのように変化したかを検証するために、2011年8月から9月に「いわて GINGA-NET プロジェクト」に参加した学生（期間中にスタッフとして活動した岩手県立大学の学生は含まない）にアンケート調査を行いました。ボランティア活動に従事した学生に対して活動の前後に統一した調査を実施した事例は過去にあまりないため、1,018名の参加学生から得られた本調査結果は、学生ボランティア活動の意義を議論するための重要な資料となり得ると思われます。

本作業部会は、ボランティア活動に参加した学生の意欲及び能力が向上し、中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」に示される学士力の獲得に結び付いたという分析結果を踏まえ、活動に伴う様々な課題等への考察及び大学教育においてボランティア活動がもつ意味や正課の学習との関連性を明らかにしながら、後に提言を行いたいと考えています。

なお、アンケート用紙の作成並びに調査結果の解析等の実務に関しては大阪府立大学地域連携研究機構「地域福祉研究センター」に、アンケート用紙の配布・回収は「いわて GINGA-NET プロジェクト」の学生スタッフに依頼しました。御協力に関して深く感謝したいと存じます。

本調査結果の詳細については、協会 Web サイトに掲載しております。

集計結果や自由記述に示された学生の声から見える傾向や課題の中からいくつかのポイントを紹介します。

○「コミュニケーション力」が伸びたと実感した学生が多い。

今回の活動は地域のコミュニティ支援が中心であったため、ボランティア参加学生には地元住民や学生同士との積極的な関わりが求められるなど、プログラム中に「コミュニケーション力」を意図的に発揮できるような配慮がされていたことも背景にあります（グラフ① コミュニケーション力）。

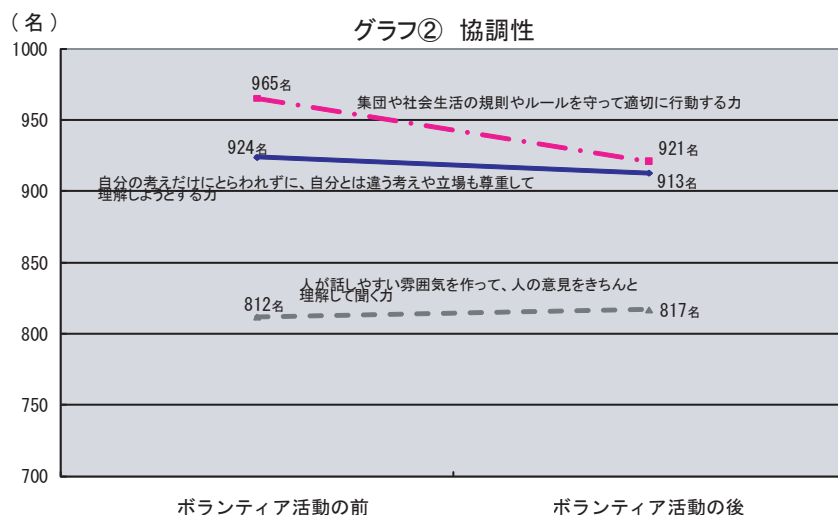
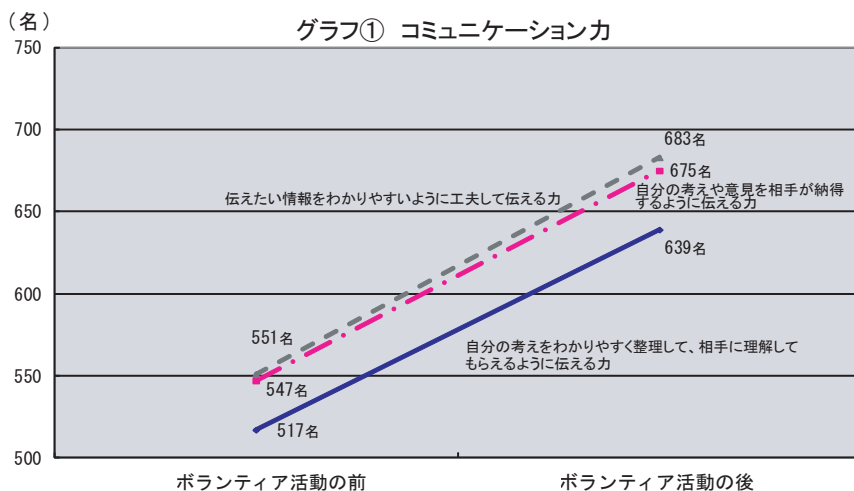
○「協調性」についてはもともと高いと自己評価した学生が多かったが、活動後の評価はやや低下している。

「集団や社会生活の規則やルールを守って適切に行動する力」「自分の考えだけにとらわれずに、自分とは違う考えや立場も尊重して理解しようとする力」などの自己評価がやや低

下しました。活動における様々な困難や相互理解の難しさとの出会いの中で、自らの能力の未熟さを自覚させられたと考えられます（グラフ② 協調性）。

まとめ

調査を通して、①ボランティア活動が「学士力」の自己評価に与える影響は大きい点、②大学として学生のボランティア活動を支援する際には活動プログラム自体に何らかの教育的配慮を持たせることが望ましい点が把握できました。また、ボランティア活動後に高揚感を持って大学に戻る学生が、正課においても学習密度を向上させることができるようなカリキュラム上の工夫等を検討する必要があることが確認されました。



平成 23 年度公立大学協会高等教育改革フォーラムを開催しました

2月14日(火)・15日(水)に如水会館(東京・千代田区)で高等教育改革フォーラムを開催し、セッションⅠには50大学70名、セッションⅡには43大学59名が参加しました(発表者除く)。

なお、当日配付しました資料は協会 Web サイトに掲載しております。



プログラム (敬称略 肩書は開催当時)

セッションⅠ

「大学教育の質保証と公立大学のカバナンス改革」
2月14日(火) 13:00～17:00
進行: 佐々木雄太第1委員会委員長

1 事例報告

「プロジェクト学習の新たな展開」
公立はこだて未来大学副理事長・特任教授 岩田州夫
「大学連携でつくるeポートフォリオ」
福井県立大学学術教養センター教授 山川修
「ティーチングポートフォリオの構築」
大阪府立大学工業高等専門学校長 長澤啓行

2 講演

「これからの大学教育の質保証と大学改革について」
講師: 文部科学省 板東久美子 高等教育局長

3 パネルディスカッション

「大学教育の質保証と公立大学のカバナンス改革」
モデレータ: 佐々木雄太委員長
パネリスト: 文部科学省 義本博司 高等教育企画課長
事例報告者 3名

セッションⅡ

「公立大学の国際化戦略のこれから」
2月15日(水) 9:00～12:30
進行: 木苗直秀第2委員会委員長

1 事例報告

「北九州市立大学の留学生受け入れと地域コミュニティについて」
北九州市立大学副学長 木原謙一
「名桜大学の留学生派遣について」
名桜大学長 瀬名波榮喜
「国際教養大学の留学制度と成果」
国際教養大学副学長 町田大輔

2 文部科学省政策説明

「グローバル人材育成のための政策」
高等教育企画課国際企画室長 坂下鈴鹿
大学振興課課長補佐 石橋晶
学生・留学生課課長補佐 水畑順作

3 ディスカッション

モデレータ: 木苗直秀委員長

「IR コンソーシアム」参加についての説明会を開催しました

3月5日(月)(公立大学協会事務局)と3月14日(水)(大阪府立大学中之島サテライト)の両日、『「IR コンソーシアム」参加についての説明会～教学IRシステムを活用した教育の質保証の取組み～』を開催しました。

中教審大学分科会の審議は、教育の質保証の取組みに関し、教育成果の検証と教育方法の改善を制度的に求めていく方向で行われています。例えば、学生アンケートの実施もその主要な手法の一つですが、実施経験のない大学において調査票や実施方法などを一から検討することは負担が大きいと思われます。

このコンソーシアムを活用することで、一大学ではなかなか進展できない教学IRを①個別大学内での改善

のための調査・分析と、②ベンチマーキングのための複数機関間比較や全国調査による自機関の相対的な位置付けのための調査・分析の両面から可能にすることが期待できることが説明されました。

※ IR システムのサンプルは <https://iris.irnw.jp/> をご覧ください。



東京会場には8大学9名、大阪会場には8大学11名が参加

文部科学省

「平成 24 年度大学入試センター試験に関する検証委員会」ヒアリングへの対応

3月15日(木)、文部科学省「平成 24 年度大学入試センター試験に関する検証委員会(第2回)」において、清原正義第2委員会委員(兵庫県立大学長)と中田晃事務局長が、1月14日(土)、15日(日)の大学入試センター試験実施時に発生したトラブルについての発生原因、改善方策、その他センター試験に対する要望等について、以下のとおり意見を発表しました。

- 試験実施にかかる変更点等は、早期に決定して徹底周知してほしい。
- 試験室割当の連絡がやむを得ず間際となるのであれば、できる限り会場校の要望に配慮してほしい。
- 試験開始時間遅延の最大の理由は、説明すべき内容に対して説明にかけられる時間が不足していたことである。

今後この検証委員会では、各委員からの意見を踏まえ、平成 25 年度以降のセンター試験における改善等について必要な検討を重ね、4月中に方針をまとめるとのことです。

中央教育審議会教育振興基本計画部会ヒアリングへの対応

政府が現在策定している第2期教育振興基本計画に向けてのヒアリングが行われ、本協会からも奥野武俊会長の代理として中田晃事務局長が2月24日(金)、ホテルフロラシオン青山にて意見を発表しました。意

見の項目は以下のとおりです。

- 「東日本大震災を受けて」に関して
- 教育の改善に関して
- 地方公共団体に期待される役割
- 教育成果の保障に向けて

公立大学 SD 作業部会による報告書がまとまりました

公立大学の職員の能力開発及び交流研鑽に係る企画立案等を行うために、昨年10月より第3委員会のもとに公立大学SD作業部会が設置され、活動しています。

本作業部会では、主査及び専門委員に平成23年度公立大学職員セミナーに参加した6名を迎え、平成23年度と同セミナーのプログラムの検証及び参加者アンケート結果の分析、各公立大学におけるSDの現状やニーズの把握、国立大学や私立大学のSDプログラムとの内容比較等を行っています。すでに「平成23年度セミナーの成果と課題」「平成24年度セミナー案」、作業部会での検討内容を盛り込んだ「今後の公立大学のSDのあり方について」を含めた「平成23年度公立大学職員セミナー報告書」を今年3月にまとめ、現在は平成24年度公立大学職員セミナーの計画に着手しています。

平成24年度公立大学職員セミナーについては、詳細が決定され次第、各大学に正式なご案内をお届けいたします。

* * *

平成24年度公立大学職員セミナー

- 日程：7月18日（水）～20日（金）
- 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

平成23年度 公立大学 SD 作業部会 委員名簿（敬称略・所属は平成24年3月31日現在）

	所 属	氏 名
主 査	愛知県立大学学術情報部長兼研究支援・地域連携課長	春日井 隆司
専 門 委 員	岩手県立大学教育研究支援室教務・国際交流グループ主査	関屋 一博
〃	山梨県立大学経営企画課長	倉田 洋和
〃	滋賀県立大学総務グループ主任主事	高谷 美穂
〃	広島市立大学事務局企画室主事	伊藤 亮
〃	北九州市立大学就職支援室	松岡 桂次郎
アドバイザー	公立大学協会相談役／前愛知県立大学長	森 正夫
〃	高崎経済大学副学長	大宮 登

平成23年度部会活動 ※公立大学協会では13の部会が活動しています。

【医科歯科部会】9大学で構成

平成23年度部会長校：九州歯科大学
部会開催：7月29日（金）九州歯科大学
平成24年度部会長校：名古屋市立大学

【薬学部会】3大学で構成

平成23年度部会長校：岐阜薬科大学
部会開催：11月4日（金）岐阜薬科大学
平成24年度部会長校：名古屋市立大学

【看護・保健医療部会】46大学で構成

平成23年度部会長校：神戸市看護大学
部会開催：7月1日（金）神戸市看護大学
平成24年度部会長校：神戸市看護大学

【人文系部会】18大学及びオブザーバー1大学で構成

平成23年度部会長校：滋賀県立大学
部会開催：11月11日（金）京都平安ホテル
平成24年度部会長校：大阪市立大学

【商・経・経営学部会】20大学で構成

平成23年度部会長校：静岡県立大学
部会開催：9月9日（金）静岡県立大学
平成24年度部会長校：釧路公立大学

【社会福祉学系部会】15大学で構成

平成23年度部会長校：京都府立大学
部会開催：11月12日（土）ルビノ京都堀川
平成24年度部会長校：大阪市立大学

【外国語学・国際関係部会】7大学で構成

平成23年度部会長校：北九州市立大学
部会開催：9月5日（月）北九州市立大学
平成24年度部会長校：愛知県立大学

【理学部会】6大学及びオブザーバー1大学で構成

平成23年度部会長校：大阪市立大学
部会開催：10月21日（金）大阪市立大学
平成24年度部会長校：大阪府立大学

【工学部会】15大学で構成

平成23年度部会長校：会津大学
部会開催：11月10日（木）会津若松ワシントンホテル
平成24年度部会長校：広島市立大学

【農学部会】8大学で構成

平成23年度部会長校：石川県立大学
部会開催：10月21日（金）石川県立大学
平成24年度部会長校：滋賀県立大学

【芸術部会】12大学で構成

平成23年度部会長校：岡山県立大学
部会開催：10月7日（金）岡山県立大学
平成24年度部会長校：広島市立大学

【情報部会】28大学で構成

平成23年度部会長校：釧路公立大学
部会開催：11月29日（火）前橋工科大学
平成24年度部会長校：情報科学芸術大学院大学

【生活科学・環境学系部会】12大学で構成

平成23年度部会長校：大阪市立大学
部会開催：9月30日（金）ホテルメトロポリタン秋田
平成24年度部会長校：滋賀県立大学

公立大学協会の主な活動の記録（H24.1.1～H24.3.31）役職名組織名は全て日付当時

1月

- 4日(水)★文科省石橋課長補佐来局〔協会事務局〕
- 10日(火)★大学評価・学位授与機構来局〔協会事務局〕
- 16日(月)★就業力育成支援事業協議会説明会〔文科省〕★文科省大学設置室来局〔協会事務局〕
- 20日(金)★全国公立大学設置団体協議会〔兵庫・ラッセホール〕
- 23日(月)★第4回東日本大震災復興学生ボランティア等に関する作業部会〔協会事務局〕
- 26日(木)★大学評価・学位授与機構来局〔協会事務局〕
- 27日(金)★第2回公立大学SD作業部会〔協会事務局〕
- 31日(火)★第8回運営会議〔協会事務局〕★文科省佐藤専門官来局〔協会事務局〕★大学分科会〔文科省〕

2月

- 13日(月)★就職問題懇談会〔金融庁〕★大学教育部会〔文科省〕
- 14日(火)、15日(水)★高等教育改革フォーラム〔如水会館〕
- 17日(金)★第1回大学ポートレート（仮称）準備委員会〔学術総合センター〕

- 20日(月)★第4回理事会及び各委員会（合同会議）〔メルパルク東京〕
- 22日(水)★第1回平成24年度大学入試センター試験に関する検証委員会〔文科省〕★大学教育部会〔文科省〕
- 24日(金)★教育振興基本計画部会におけるヒアリング〔ホテルフロラシオン青山〕

3月

- 1日(木)★地方独立行政法人法会計基準等研究会〔総務省〕
- 5日(月)★大学入試センター来局〔協会事務局〕★「IRコンソーシアム」参加についての説明会〔協会事務局〕
- 7日(水)★大学教育部会〔文科省〕★第9回運営会議〔協会事務局〕
- 8日(木)★第2回大学ポートレート（仮称）準備委員会〔学術総合センター〕
- 9日(金)★兵庫県立大学清原学長来局〔協会事務局〕★第3回SD作業部会〔協会事務局〕
- 12日(月)★大学分科会〔文科省〕
- 13日(火)★第2回UMAP日本国内委員会〔学術総合センター〕

合センター〕

- 14日(水)★「IRコンソーシアム」参加についての説明会〔大阪〕〔大阪府立大学・中之島サテライトキャンパス〕
- 15日(木)★第2回平成24年度大学入試センター試験に関する検証委員会〔文科省〕
- 16日(金)★第3回平成24年度大学入試センター試験に関する検証委員会〔文科省〕
- 26日(月)★大学教育部会〔文科省〕
- 27日(火)★第4回平成24年度大学入試センター試験に関する検証委員会〔文科省〕
- 28日(水)★第4回入学者選抜方法の改善に関する協議会〔文科省〕

事務局より

文部科学省内に大学改革タスクフォースが設置され、中教審大学分科会大学教育部会による「審議まとめ」が公表されました。同省の大学改革を急ぎ進めたい思いがこの動きに見て取れます。情報をいち早くお届けできるよう尽力いたしますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。